

# 令和2年度学校経営方針概要 【大宮中コンパス】

令和2年5月18日

杉並区立大宮中学校校長 関田誠

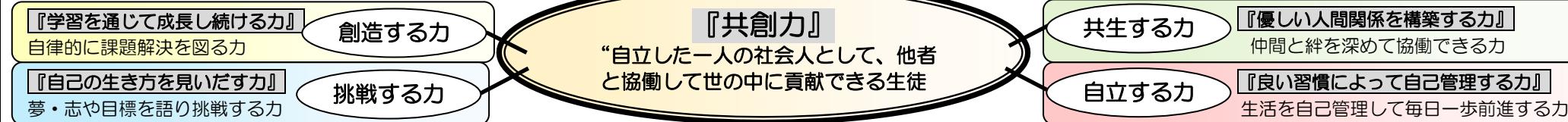
教育目標 (1) 心身とも健康な人 (2) 自ら学ぶ人 (3) 他を思いやる人 / (C組) すすんで学ぶ人 心とからだの健康な人 思いやりの気持ちのある人

大宮中精神：優しさをもって、自らの夢や目標に挑戦を続ける大宮中生であれ！ 『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 每日挑戦』

大宮中では、優しさをもって「つながり」に学び「絆」を深めながら、自己の可能性を見出し、夢や目標を掲げて挑戦を続ける生徒を育む。「自分の力を育ててくれた大宮中、杉並区を愛する」ことを、誇りをもって語れる生徒を育てる教育活動を行う。保護者・地域と信頼関係を構築し、将来、社会の一員として活躍する生徒を共に育てる。

目指す学校像：(1) しなやかな心と体を鍛える学校 (2) 自己と向き合い学ぶ意欲を育てる学校 (3) つながりに学び絆を深める学校

目指す生徒像：具体的な姿



目指す教員像：(1) 生徒がわからない事をわかるようにできる人 (2) 良い生活習慣・学習習慣を身につけさせる人 (3) 生徒に常に寄り添い共感的に応援できる人

目指す職員室：(1) 学ぶ教職員が学ぶ生徒をつくる職場 (2) 常に協力し支え合い、笑いの絶えない風通しの良い職場 (3) 整理整頓を心がけ働き方改革を行う職場

教育目標達成のための4本柱…『7つのゼロ』目標

大前提：コロナウイルスに罹患しない予防力の養成…コロナ罹患者ゼロ ①新しい学習環境の構築への意識転換。②3密場面の低減の徹底を図る。

『授業を通じて学び続ける力』の習得…学習無気力ゼロ	① 『全員に基礎・基本の徹底』+『出来る生徒を飽きさせない発展的学習』を踏まえ、生徒が能動的に学ぶ楽しさの習得。【主体的・対話的な深い学びの視点】 ② 授業ノート+αの工夫や適宜の宿題による、家庭での自主学習習慣の修得。	『優しい人間関係を構築する力』の醸成…いじめ見逃しゼロ・不登校ゼロ	① 人権教育の徹底を図り、いじめや暴力のない温かい人間関係の醸成。 ② 通常学級と特別支援学級の交流学習を通して、相互理解の醸成。 ③ 感動を伴う学校行事、生徒会活動により、成就感、達成感、自己有用感の醸成。
『自己の生き方を見出す力』の育成…夢や目標なしゼロ・読書不読率ゼロ	① 体験活動・講演会や講話の充実を通して、望ましい職業観・勤労観の育成 ② 全ての生徒が将来の夢や目標を見出し生活する、将来設計力の育成 ③ 読書習慣の形成で『学ぶ意味』を踏まえた社会貢献の心の育成 ④ ボランティア活動の取組による奉仕の精神と自己有用感の育成	『良い習慣で自己管理する力』の定着…家庭学習未定着ゼロ、忘れ物未提出ゼロ	『DOノート、連絡帳(C組)』に全校体制で取り組み、見通しと振り返りの力定着。 ① 備忘録として、『忘れ物・未提出ゼロ』の意識の定着。 ② 自主学習『計画・実行・振り返り』の定着。(例) 1年1h、2年2h、3年3h ③ 日記・メモ欄を活用させ、夢や目標の実現に向けた取り組みの定着。

『学校の応援団組織』 学校運営協議会(CS)・学校支援本部・地域教育連絡会の活動を通して、本学区の地域住民の願いを叶える学校をつくる。

- ・学校運営協議会(CS)…教育課程、学校経営計画の承認、委員・生徒・保護者の意識調査、学校関係者評価の実施、広報など、教職員・PTA・生徒会本部との懇談等。
- ・学校支援本部の活動…学校運営に協力できる地域の人材の紹介。放課後学習教室『なでしこ塾』、土曜英語教室『』、英検実施担当、地域行事の見守り 等

『特別な教科・道徳』の研究 ①今年度は『自分の個性を伸ばす』『社会や公共のために役立つ』を重点項目とする。②本実施初年度 22 項目、35 時間を『別葉』を掲示して着実に実施する。③学期ごとの授業の評価材料をあつめて、生徒の授業内の発言、記述のメモの蓄積による通知表所見への対応をする。

『DO ノート』活用の推進 A (Ambition 夢・志) ⇒ P (Plan 計画) ⇒ D (Do 実行) ⇒ S (See 振り返り) サイクルを生活習慣に構築させる学年ごとの取り組みの工夫。

『教室に新聞がある環境づくり』 新聞を読ませる工夫をすることを通して、生徒の世の中の事象に対する興味関心を高め、知的なバックグラウンドを拓げ深めさせる。